

## 令和2年度第3回高知県職業能力開発審議会 議事概要

1. 日 時 令和3年2月8日（月）
2. 場 所 県民文化ホール第6多目的室
3. 出席委員 筒井早智子 脇尾一仁 青木雄治 大西孝枝 楠瀬智都世  
杉藤雄紀 臼井裕喜 川上勲夫 川村進一 森由枝 吉門文恵
4. 議 事 第11次高知県職業能力開発計画について  
オーテピアとの連携について  
技能五輪全国大会への参加報告

### 5. 内 容

#### (1) 開会

#### (2) 商工労働部長あいさつ

#### (3) 諮問

知事より審議会へ第11次高知県職業能力開発計画について諮問

#### (4) 第11次高知県職業能力開発計画について

○事務局から説明

○質疑意見など

#### (委員)

外国人に対する職業能力開発というところで、日本語教育の方が先ではないか。教える側は外国語を話すことができるのか。

#### (事務局)

ご指摘のとおり、日本語教育はとても重要である。県として想定しているのは外国人技能実習生で、この方たちは、入国前に日本語教育を受けた上で、入国することになっている。とはいえ、日本語の習得レベルには個人差があることから、入国後も高知県中小企業団体中央会を通じてや地域での日本語教室を活用して、日本語の勉強をしていただくことが可能である。来年度、こちらの取り組みに力を入れていくことを予定している。

職業能力開発施策としては、入社間もない技能実習生に対する講習を予定している。こちらの講習は、通訳を入れて実施することを予定している。また、日本語と母国語が併記されたテキストの使用を予定しており、日本語を理解しながら、安全に技能を習得いただけるようになるのではないかと考えている。パイロット的に一度、実施したいと考えている。

(委員)

保育士や看護師の資格を持った方で、ずっと前に離職された方が一定数存在している。国もそうした方に現場に戻ってほしいという考えを持っていると理解している。全員参加型社会の実現もそうだが、そういった埋もれた人材の方、ずいぶん前に離職された方は自信がなかったりすると思うので、そういった方も含めて能力の再開発をしてもらったらいいのではないかな。

また、それ以外の職種でも人材が不足しているということをよく聞いているので、そういう職種も新たに盛り込んでいくなど、工夫したら良いのではないかな。

(事務局)

潜在看護師や助産師等の復職については、これまでも課題となっていたところ。近年では歯科衛生士や他の産業分野においても、課題となっているので、その部分については関係部署とも歩調を合わせながら、計画の盛り込み方について、今後検討していきたい。

(委員)

訓練制度が十分に認識されていないので、こうした施策を多くの方に利用いただくための有効な広報、周知方法について、10次計画とは違うかたちで新しい計画の中で取り組めたら良いと思う。

(5) オーテピアとの連携について

技能五輪全国大会への参加報告

- 事務局から説明
- 質疑意見など

(委員)

技能五輪の練習風景を見せていただく機会があったが、訓練生も指導員もとても熱心に取り組まれていた。結果が気になっていたのに、報告が聞けて良かった。

(委員)

技能五輪への参加について、県民に積極的にお知らせした方が良い。本人、学校、後輩への動機付けにつながる。

技能五輪については、今後も積極的に参加いただきたい。訓練生も全国レベルにチャレンジすることで、モチベーションも上がるのではないかな。必要な道具は準備してあげてほしい。

また、こうした取組みにより、職業能力開発という意義も出てくるし、PRにもなる。

(以上)